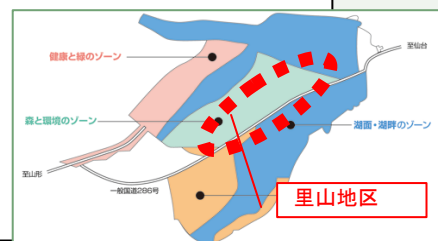


みちのく公園「里山地区」の「志」

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



7月5日（土） 小雨

開園の賑わいから少し落ち着いて、通常のボランティア活動です。小雨の中、足元を確認しながら活動をしました。

新しく来た林内作業車を使って、樹林地内の伐倒木の運搬もしました。なかなか快調です



■本日の主な活動

- 園路名称サインの支柱づくり
- あかまつだいらの刈り払い
- 板挽き
- テーブルづくり
- きのこの本伏せ
- 残材片づけ
- 伐倒木の運搬



7月12日（土）晴れ 森の自然セミナー

森の自然セミナーは、里山の自然を学ぶ真面目な勉強会です。今日は第3回目、テーマは「夏の里山」。草地や明るい林に生える植物、林内に生える植物、湿地や沢に生える植物と、環境ごとに、夏の里山に咲く植物を観察しました。植物は、光をめぐって葉や花の形が変わってきました。



■本日の主な活動

- 普通救急救命講習
(川崎消防の指導、里山・自然共生園)
- 小屋掛け用板挽き
- 残材玉切り、運搬
- 刈り払い
- 園路名称サインづくり
- 夏の体験イベントの企画会議

明るい林の植物



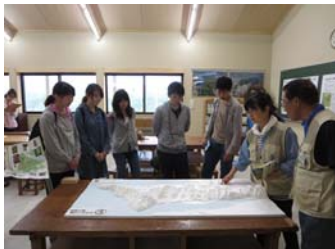
暗い林の植物



7月19日(土) 雨 宮城大学の学生来園

この日は、宮城大学食産業学部の学生と教職員の方が里山体験に参加しました。あいにくの雨の中ですが、どんな時にも楽しいことがあるのが里山です。

まず、小野分校で里山地区の地形や歴史を模型を使って紹介しました。



お昼ごはんの飯盒炊飯のために米を研いで、荷物をもって「森の楽校」へ。ボランティアは一足先に行っています。「森の楽校」に着いたら、みんなでKY(危険予知)活動をして活動の準備。

まずは、お昼の支度。2班に分かれて、飯盒炊飯とカレーづくり。薪を拾ってカマドに火起こしをしました。



お昼ごはんができた時、大雨になりました！あわてて休憩小屋に避難。うす暗い小屋で食事をしながら自己紹介をしました。



食事のあとは力仕事。伐採した木の薪割りです。薪割り機、斧、鉋といろいろな道具を使ってもらいました。よい交流ができました。



■本日の主な活動

- 飯盒炊飯、カレーづくり
- ツリーハウス体験
- 薪割り(薪割り機、斧)
- 小屋掛け用板挽き
- 残材運搬、玉切り
- 夏の体験イベントの企画会議

7月26日(日) 晴れ 第4回森の楽校

第4回の「森の楽校」会員活動は、急に暑くなった日でした。身体がまだ暑さに慣れていないので、ともかく熱中症に注意！

4月から作ってきた園路名称サインの現地への建て込みをしました。



■本日の主な活動

- 梅干しづくり
- ツリーハウス体験者の誘導
- 昼食：ピザ・野菜スープづくり、かき氷
- 園路名称サインづくり
- 園路名称サインの建て込み
- トイレのサインづくり、取り付け
- 木工教室用の板挽き、運搬
- あかまつだいら刈り払い
- 残材運搬、玉切り
- 粘土を使った焼き物試作品受け取り
- 夏の体験イベントの企画会議

